担当司祭:林 和則

4月8日(水)までミサの中止および教会施設の閉鎖を延長します

†主の平和

本日午後、前田大司教様より、第4次の「新型コロナウイルス感染症にともなう措置」の通達が FAX によって送られて参りました。

今回は3枚にわたる長文ですが、聖週間も含む大切なお知らせも含まれておりますので、通達を送付いたします。

また、通達に従って垂水教会が取るべき措置に関しての重要なものを先に以下に列挙しておきます。

通達1. に従って、4月8日(水)まで週日、主日のミサの中止、また聖堂、信徒会館の施錠、駐車場、遊具の使用禁止による教会の閉鎖を延長いたします。

通達2. に従って、4月5日(日)「枝の主日」また枝の祝別をどのように執り行うか、評議会代表と話し合います。いずれにしても皆様の参加はできません。

通達4. に書かれておりますように、聖なる三日間からミサが再開されても、 典礼にさまざまな制約が課せられます。復活祭以降のミサについても制約が課 されます。よくお読みになって、理解しておいて頂くようにお願いいたします。

前田大司教様からの通達は以下の通りです。

- 1. 大阪教区での公開ミサは、4月8日(水)までは引き続き中止とし、4月9日(木)の聖木曜日・主の晩さんの夕べのミサから再開してください。ただし、その日までに大きな状況の変化があれば、再開を再び延期する通知をします。
- 2. 4月5日(日)枝の主日(受難の主日)は、公開ミサはまだ行いませんが、小教区司牧担当司祭は、可能であれば侍者や数名の信者とともにミサをささげ、小教区の信者のための枝を祝福してください。枝は後日、信者が自由に持ち帰られるようにします。

- 3. 4月8日(水)に予定していた聖香油ミサと金祝等司祭祝賀会は<u>5月20</u>日(水)11時に延期します。
- 4. 聖なる三日間の典礼に関しては、3月19日のバチカン典礼秘跡省の教 令に基づいて次のような変更を加えてください。
 - a) 聖木曜日:任意とされている洗足式は省きます。主の晩餐の夕べのミサ の結びに行われる、安置所に向かう聖体の行列は省かれ、聖体は通常の 聖櫃に安置します。
 - b) 聖金曜日:盛式共同祈願に以下の意向を追加します。 *新型コロナウイルスのための祈願文ですが、省略します。文章はカト リック中央協議会のホームページに掲載されています。
 - c)復活の徹夜際:「光の祭儀」では、火の祝福を省き、復活のろうそくをともし、行列を省いて復活賛歌を唱えます。続いて「ことばの典礼」を行います。
 - d)洗礼式を徹夜際中に行うかどうかは、小教区の司牧責任者に一任します。

5. その他の注意事項

- a) 体調が不良の場合は無理をせず、ミサ参加の自粛をお願いします。また、高齢や基礎疾患があってミサに参加することが不安な方も同様です。そのような場合、ミサにあずかる義務はありません。
- b) 司祭はミサ前に必ず十分に手洗いを行ってください。さらに、司祭と臨時の 聖体授与の奉仕者は、聖体を授与する前に手を洗うか消毒するかしてくだ さい。
- c) ミサを司式する司祭は、熱があったり咳が出たりするなど風邪の症状がある場合、ミサを司式しないようにしてください。主日のミサを代行する司祭が見つからない場合、ミサを中止してかまいません。その場合、信者は主日のミサにあずかる義務はありません。
- d) ミサの前後やミサ中、なるべく聖堂の窓を開け、換気に心がけてください。
- e) 聖堂内ではなるべく離れて座るように、可能ならばベンチの前後の間隔を 広げたり、椅子の置く範囲を広げたりしてください。
- f) ミサに参加する場合は、なるべくマスクを着用してください。聖書朗読者や 先唱者、侍者であってもマスクを着用してかまいません。
- g) 当面の間、ミサ中の歌う箇所や聖歌は歌わず、唱えてください。会衆が答える箇所では、代表(司会者や先唱者など)がマイクで答え、会衆は大きな声で答えないように留意してください。

- h) ミサ中のパンとぶどう酒の奉納は当面控えてください。あらかじめ祭壇近くに用意してください。
- i) 聖堂や信徒会館などの入り口には、手指消毒用のアルコールを設置するよう心掛けてください。
- j) 当面の間、聖堂入り口に設置されている聖水盤などには聖水を入れず、使用禁止の張り紙を貼ってください。聖水がウイルスを媒介するのではなく、多数の方々が指で触れる聖水盤に危険があるとされるためです。

以上